



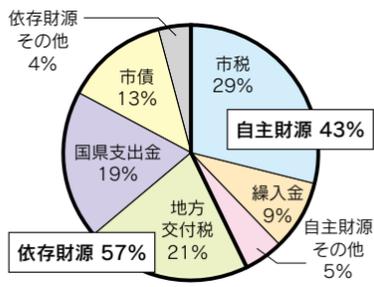
むなかた市議会だより

平成25年3月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報調査特別委員会
 ●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
 ●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
 ●市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/shinai/gikai/gikai-index.php
 ●メール=gikai@city.munakata.fukuoka.jp

▼**依存財源**
 (105億3007万円)
 市債は、前年度より若干減っていますが、44億3890万円を計上しています。昨年度に引き続き東郷駅北口の駅前広場の整備など合併特別債を活用した事業を予定しているためです。

▼**自主財源**
 (144億5488万円)
 市税は、団塊世代の退職が増えていくことや経済情勢の動向から個人市民税、法人市民税ともに減額になっています。



歳入

当初予算としてはこれまでで最大の規模になりました。市東部の観光拠点施設整備や道の駅むなかたの増改築工事など観光分野に多く予算が配分されています。また、生活保護費などの福祉費も増えています。

一般会計総額 339億5875万円
 前年度比2億2028万円増、過去最大の予算規模

税金の使いみちが決まりました 平成25年度予算を賛成多数で可決

▼**観光物産館整備事業費**
 (2億円)
 道の駅むなかたの売り場を増改築し、集客の向上を図る。

▼**防災対策事業費**
 (5億230万円)
 指定避難所の防災機能強化を図る。防災マップ、地震ハザードマップ(*2)を作成する。

▼**観光拠点施設整備事業費**
 (1億5000万円)
 25年度予算の重点分野は、防災、観光、都市ブランド(*1)。主な新規、拡大事業は次のとおり。

歳出

▼**シティブロモーション事業費**
 (1470万円)
 SNS(*3)サイトやラジオなどを活用して市の魅力を発信し、都市イメージを確立していく。

▼**文化芸術振興事業費**
 (2001万円)
 新市制10周年とユリックス25周年を記念した市民音楽祭を行う。

▼**子ども相談事業費**
 (1307万円)
 家庭児童相談、青少年相談、子どもの権利相談事業を統合した、子ども相談センターを設置。

観光拠点施設整備事業費

▼**保育所保育実施事業費**
 (14億9208万円)
 保育の実施や保育所整備を行う。

▼**健康・保健指導事業費**
 (1億343万円)
 がん検診や節目健診の受診率向上を図る。新たにHPV検査(*4)とコロリ菌検査を開始する。

▼**東郷駅前広場整備事業費**
 (6億1072万円)
 東郷駅北口駅前広場と周辺道路を整備する。

文化芸術振興事業費

▼**東郷駅前広場整備事業費**
 (6億1072万円)
 東郷駅北口駅前広場と周辺道路を整備する。

▼**健康・保健指導事業費**
 (1億343万円)
 がん検診や節目健診の受診率向上を図る。新たにHPV検査(*4)とコロリ菌検査を開始する。

▼**東郷駅前広場整備事業費**
 (6億1072万円)
 東郷駅北口駅前広場と周辺道路を整備する。

文化芸術振興事業費

議員と語ろう！

議会報告会を開催します

「これからのまちづくり」について議員と語り合いませんか。議会では市民とのつながりを深め、信頼関係を築き、開かれた議会を目指して議会報告会を開催します。

日時	会場
5月21日(火) 19:00～	東郷地区コミセン
5月22日(水) 19:00～	赤間西地区コミセン
5月23日(木) 19:00～	玄海地区コミセン

*申込みは不要です。ご希望の会場に直接お越しください。

予算委員会での主な質疑
 問 法人市民税は、毎年増えているのに、減額を見込んだ理由は。
 答 法人数は増えているが、課税額の大きい大規模な事業所が増えているため。
 問 指定避難所へ配置する防災資機材は。
 答 非常食、ペットボトル水、生活用品などを配置。
 問 赤間宿の古民家の整備方法は。
 答 耐震性を確保するため、一度解体し、木材などを再利用し、古民家風に建築。
 問 古民家の管理運営体制は。
 答 市東部の古武、赤間、赤間西、南郷の4地区のコミュニティや観光協会と連携して進める。
 問 古民家を整備するより、赤間宿全体の構想をまとめるのが先では。
 答 古民家を拠点に、住民の意識を向上させながら街並み整備に取り組み。
 問 シティブロモーション事業でのSNSの内容は。
 答 フェイスブックでの運用を検討。25年6月から試験運用し、26年1月から本格実施を予定。
 問 新市制10周年記念の市民音楽祭の内容は。
 答 ユリックスの芝生広

場の野外コンサートを企画。
 問 新たに設置する子ども相談センターの場所と相談体制は。
 答 市役所内に設置する。家庭相談員と子どもの権利相談員に加え、市職員も配置。
 問 待機児童解消のため整備する保育所は。
 答 野ばら第二保育園を増築し、河東地区に保育所を新設し、あわせて140人の定員増とする。
 問 東郷駅北口駅前広場整備の進捗状況は。
 答 用地買収と建物移転補償の交渉を進め、一部交渉の整った場所の工事を実施。

本会議での主な意見
 議会では、税収が減るなか、限られた財源を都市ブランド、定住化など市の将来を見据えた事業や防災、子育て、健康づくりなど市民生活に密着した事業に手厚く配分していることを評価する意見が出されました。
 一方、世界遺産登録活動を続けることを疑問視する意見や、赤間宿の古民家について、総合計画との整合性がない点や施設の位置づけ、運営体制が明確でないことを指摘する意見が出されました。

国民健康保険税の値上げを賛成多数で可決

◆国保税改正の概要◆
16・8%増の値上げ
急激な高齢化、医療の高度化などにより医療費などが増加し、25年度国民健康保険特別会計の収支不足額は、約6億1千万円。これを全額、税改定で確保すれば、1人あたりの保険税額は24年度と比べ約34%の大幅な増加となります。

◆その他の改正◆
納期の変更
現在の8期を10期に変更し、1期あたりの納付額を減少させ、負担感を軽減する。

◆委員会の意見◆
賛成多数で可決
3月8日
社会常任委員会では、国民健康保険制度の目的や医療費抑制の取り組みなどについて多くの質問が出されました。また、国保加入者の生活を危惧する意見もありました。

社会常任委員会

3月8日 賛成多数で可決

社会常任委員会では、国民健康保険制度の目的や医療費抑制の取り組みなどについて多くの質問が出されました。また、国保加入者の生活を危惧する意見もありました。

委員会での主な質疑

問 国民健康保険運営協議会(国保事業の運営に関する重要事項を審議する市の諮問機関)でどのような審議があったのか。
答 税率改定についての反対はなく、やむを得ないだろうという意見だった。

問 収納率が低下しないよう対策は。
答 加入者の負担感が大きい

問 医療費抑制のための施策はやっているか。
答 市民の健康づくりのため、保健師を雇い、保健事業を行っている。また、市内に医療費適正化推進会議を設置し、医療費抑制のための対策を講じている。

問 法定外繰入れは、他市も行っているのか。
答 市内28市のうち、法定外繰入れをしないと決めている市は17市。収納率が非常に低いため、税率改定ができず、法定外繰入れを行っている市もある。

◆納期の変更◆
現在の8期を10期に変更し、1期あたりの納付額を減少させ、負担感を軽減する。

◆その他の改正◆
納期の変更
現在の8期を10期に変更し、1期あたりの納付額を減少させ、負担感を軽減する。

委員会での意見

(賛成)
加入者で、所得が200万円以下の世帯は8割を占める。今回の値上げは、そういう市民の命を削ることにつながる。一般会計からの法定外繰入れをさらに増やして、値上げ率を少しでも抑制すべき。

(賛成)
保険証があればすぐに病院に行けるという日本の優れた保険制度は維持していかなければならず、改定はやむを得ない。行政だけでなく、議員も説明責任があるので、それを行つて、今後数年間は税率を据え置くべき。

(賛成)
税率改定については、十分に議論がなされたこと認識する。今後の状況も逼迫しているため、さらなる負担増を避けるための施策を全庁的に取り組んでほしい。

(賛成)
高額療養費が増えている理由は、医療の高度化や、実際に使った医療費を窓口で全額支払わなくていいしくみになったことなどが増加の要因と考える。

(賛成)
12年間税率を見直してこなかったことを失策と言つてもできるが、市民の税金を何に使うのかという視点に立つたときに、値上げはやむを得ない。国民健康保険は制度が難しいため、市民に分かりやすい広報のしかたを工夫してほしい。

本会議最終日

3月27日 賛成多数で可決

議員から提出された修正案は、税の値上げ幅をできるだけ抑えようとするものです。一般会計からの法定外繰入れは市の提案どおり約3億円のままで、なお不足する3億円のうち約2億円を、約65億円残高がある財政調整基金で補てんしてはどうかという提案がありました。

修正案への質疑

問 財源の根拠となる財政調整基金の残高は、増えているが、どのように考えるか。
答 県下でも本市の基金の残高は多い。また、23年度の一般会計決算は赤字であったため、基金を取り崩すという考えになった。

問 介護納付金(*6)は本来ならば断固として

予算第2特別委員会

3月18日 賛成多数で可決

委員会での主な質疑
問 高額療養費が増えている理由は。
答 医療の高度化や、実際に使った医療費を窓口で全額支払わなくていいしくみになったことなどが増加の要因と考える。

問 国民健康保険の収納率が上がっている要因は。
答 口座振替での納付を推進しているため。さらに口座振替をすすめるため、銀行に行かなくても市役所で口座振替の手続きができるよう取り組んでいく。

問 国民健康保険の収納率が上がっている要因は。
答 口座振替での納付を推進しているため。さらに口座振替をすすめるため、銀行に行かなくても市役所で口座振替の手続きができるよう取り組んでいく。

委員会での意見

(賛成)
12年間税率を見直してこなかったことを失策と言つてもできるが、市民の税金を何に使うのかという視点に立つたときに、値上げはやむを得ない。国民健康保険は制度が難しいため、市民に分かりやすい広報のしかたを工夫してほしい。

(賛成)
12年間税率を見直してこなかったことを失策と言つてもできるが、市民の税金を何に使うのかという視点に立つたときに、値上げはやむを得ない。国民健康保険は制度が難しいため、市民に分かりやすい広報のしかたを工夫してほしい。

(賛成)
12年間税率を見直してこなかったことを失策と言つてもできるが、市民の税金を何に使うのかという視点に立つたときに、値上げはやむを得ない。国民健康保険は制度が難しいため、市民に分かりやすい広報のしかたを工夫してほしい。



本会議での意見

△本来ならば断固として
△後期高齢者医療支援金分(*7)と介護納付金分は自治体が拠出しなければならぬが、住民に負担感を持たせない方法を行政は考えるべきである。今年度は激変緩和措置で負担を軽減して、次年度以降緩やかな値上げをするべきである。

△本来ならば断固として
△後期高齢者医療支援金分(*7)と介護納付金分は自治体が拠出しなければならぬが、住民に負担感を持たせない方法を行政は考えるべきである。今年度は激変緩和措置で負担を軽減して、次年度以降緩やかな値上げをするべきである。

△後期高齢者医療支援金分(*7)と介護納付金分は自治体が拠出しなければならぬが、住民に負担感を持たせない方法を行政は考えるべきである。今年度は激変緩和措置で負担を軽減して、次年度以降緩やかな値上げをするべきである。

△後期高齢者医療支援金分(*7)と介護納付金分は自治体が拠出しなければならぬが、住民に負担感を持たせない方法を行政は考えるべきである。今年度は激変緩和措置で負担を軽減して、次年度以降緩やかな値上げをするべきである。

△後期高齢者医療支援金分(*7)と介護納付金分は自治体が拠出しなければならぬが、住民に負担感を持たせない方法を行政は考えるべきである。今年度は激変緩和措置で負担を軽減して、次年度以降緩やかな値上げをするべきである。

△後期高齢者医療支援金分(*7)と介護納付金分は自治体が拠出しなければならぬが、住民に負担感を持たせない方法を行政は考えるべきである。今年度は激変緩和措置で負担を軽減して、次年度以降緩やかな値上げをするべきである。

△後期高齢者医療支援金分(*7)と介護納付金分は自治体が拠出しなければならぬが、住民に負担感を持たせない方法を行政は考えるべきである。今年度は激変緩和措置で負担を軽減して、次年度以降緩やかな値上げをするべきである。

委員会での意見

△後期高齢者医療支援金分(*7)と介護納付金分は自治体が拠出しなければならぬが、住民に負担感を持たせない方法を行政は考えるべきである。今年度は激変緩和措置で負担を軽減して、次年度以降緩やかな値上げをするべきである。

△後期高齢者医療支援金分(*7)と介護納付金分は自治体が拠出しなければならぬが、住民に負担感を持たせない方法を行政は考えるべきである。今年度は激変緩和措置で負担を軽減して、次年度以降緩やかな値上げをするべきである。

〇〇〇 提出議案と議決結果 〇〇〇

【全員賛成で可決・同意した議案】

※小島輝枝議員欠席

Table with 3 columns: 議案名, 議案名, 議案名. Lists various municipal resolutions and their corresponding budget items.

【賛否が分かれた議案名と議決結果 (○：賛成した人 ◆：反対した人)】

Table with 18 columns (議員名) and 8 rows (議案名). Shows voting results for various proposals.

* 吉田益美議長は、議員として議決に加わる権利を有しません

意見書 section containing text about '意見書' (Opinion Letter), '政務調査費収支報告書を公開します' (Municipal Office Investigation Fee Income/Expense Report is Publicized), and '「収支報告書」は閲覧できます' (Income/Expense Report is Available for Viewing).

注釈 (Notes) section with numbered items *1 through *14, providing details on various municipal programs and policies.

会派の主張

宗像志政クラブ

代表 花田 鷹人



【後列左から】伊達正信議員、花田鷹人議員、神谷建一議員、吉田剛議員
【前列左から】小島輝枝副議長、吉田益美議長

大志をもって 宗像のために

宗像志政クラブは4期目の吉田益美議長、3期目の小島輝枝副議長、2期目の花田鷹人議員、神谷建一議員、1期目の伊達正信議員、吉田剛議員の6人で構成しています。

できる事が大きな強みです。一方、市政に対しても最大会派としての役割、責任も大きなものがあると考えています。その責任を果たすためには、

- ①高度化、複雑化、多様化する住民ニーズを把握する力
- ②条例等の政策立案能力
- ③多様な意見をまとめる調整力とコミュニケーション能力
- ④情報発信力
- ⑤結果を出す行動力、発言力

生活現場で「生の声」を聞き 政策実現へ

宗政会は無所属で3期目の福田昭彦議員と2期目の岩木久明議員、公明党で1期目の岡本陽子議員と4期目の石松和敏議員の4人で会派を組んでいます。特徴は、昨年10月の改選前からも実施していたことですが、毎月色々なテーマを設けて勉強会を行い、「議員力」を磨いてきました。「市民の目線で」「市民の声に耳を傾け」「現場主義」をモットーに、生活現場での「生の声」を聞き、



【左から】福田昭彦議員、岩木久明議員、岡本陽子議員、石松和敏議員

会派の主張 宗政会

代表 石松 和敏

今後のまちづくりを考える時に重要なことは「財政の安定」です。代表質問でも確認しましたが、今後30年間で公共施設の更新に多額の費用が必要と見込まれています。一方で、人口減少、高齢化の進展、生産年齢人口の減少などから、税収の減額など財政状況が好転する兆しは難しいと考えます。さらに、少子高齢化による社会保障費も増大していることから投資的経費など公的な資本形成のための財源が削減され、減少していく傾向にあると考えます。

そこで、今後の公共施設整備におきましては、老朽化したからといって建て替えるのではなく、統合して複合的施設として整備する必要があります。また、税収増を図るため、都市ブランドの構築や定住化施策は大変重要と考えます。

会派の主張

宗像市民クラブ

代表 小田 英俊



【左から】小田英俊議員、花田利和議員

豊富な議員経験で 地域の課題を 素早く解決

宗像市民クラブは、24年10月の市議会議員選挙で当選した私、小田英俊と花田利和議員で結成いたしました。

私は、宗像市議会で連続4期、花田利和議員は、旧玄海町議会から連続7期、議員を勤めており、私が宗像市民クラブは、その名前が示すとおり、市民が主役となり、活力ある元気なまちを目指し、日々活動しております。

はじめとする大規模災害が全国的に発生しており、地方自治体の危機管理がこれまで以上に求められています。そこで、私たちは、市民の安全で安心な生活を守るため、これまでの豊富な議員経験をいかしながら、多くの課題を解決していかなければならないと考えております。

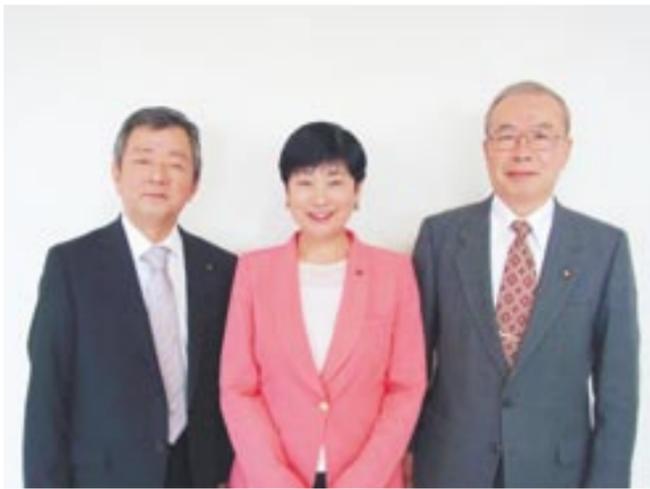
宗像市民クラブの活動理念

- ・ 市民本位の市政の確立
 - ・ 議会の民主的、建設的運営
 - ・ 公平、公正、是々非々の市政堅持
- 以上、3項目を活動理念とし市民のため全力を挙げて様々な課題に取り組みますので、今後ともなお一層のご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

会派の主張

日本共産党

代表 末吉 孝



【左から】末吉孝議員、新留久味子議員、植木隆信議員

「身近な相談相手」 共産党市議団です

日本共産党は、今年で創立91年目を迎えます。戦前は戦争に反対したため激しい弾圧を受け、小林多喜二など多くの黨員が命を落としましたが、日本共産党の主張は日本国憲法に多く活かされています。

現在の日本共産党は①日米軍事同盟をなくし、対等平等の友好平和条約を結ぶこと。②大企業中心の政治を改め、ヨーロッパ並みのルールある経済社会にすること。③

平和と民主主義、貧困と戦争のない社会をめざしています。昨年10月の宗像市議選では、末吉孝、植木隆信、新留久味子の3議席を引き続き確保することができました。政党を名乗っている市議会党派としては第一党です。現在、日本共産党の地方議員は約2800人で、「住民の苦難あるところ」に日本共産党ありをモットーに住民の福祉と暮らしを守るために日夜奮闘しています。

「飛躍」「元気」「若さ」 のとびうおクラブ

また、会派の名前には、次の二つの想いがあります。一つ目は、子どもからお年寄りまで親しみやすく憶えて頂き、市政に対して幅広く関心を持って、まちづくりに参画して頂きたいという想い。二つ目は、とびうおの別名「アア」のように、口と体を使って議会活動をまい進し、「飛躍」「活力」で若さと元気で市政という海を飛び回る想い。

とびうおクラブは、代表に上八在住の北崎正則、副代表に自由ヶ丘在住の森田卓也、事務局長に田久在住の安部芳英の新人3人で結成している会派です。

この3人は、今回の選挙まで、活動する地域や職業も違い選挙後、初めて顔をあわせるような状態でしたが「宗像が大好き、宗像のことをどうにかしなければいけない」という共通の思いで会派を組むことになりました。

議長をはじめ先輩議員から見習うことも多々ありますが新人らしく謙虚さと大胆な発想で働いていきます。

主な重点施策

- 地域づくりを推進
- 安全・安心な生活
- 次世代の育成
- 教育の充実
- スポーツ環境の充実
- 高齢者問題の解消

今後は、市民の皆さまのために、会派の議会使用や座談会、フェイスブックなどを積極的に活用し、皆さまのご意見に耳を傾け、市政に活かしていきたいと思えます。



【左から】安部芳英議員、北崎正則議員、森田卓也議員

会派の主張

とびうおクラブ

代表 北崎 正則



会派の主張

ふくおか市民政治ネットワーク

代表 杉下 啓恵



【左から】高原由香議員、杉下啓恵議員

市民の力が活きる 市民が主役の まちづくり

ふくおか市民政治ネットワークは、子育て、介護、ごみのことなど身の回りの課題を井戸端会議で終わらせるのではなく、議会という公の場で発言し解決策を提案することで、私たちの住んでいられるまちをもっと住みやすいまちにしたいと、約20年前から活動している地域政党です。私たちは、何よりも「いのち」が最優先にされる社会、そして、子どもたちの未来に責任が持てる社会にしたいと思っています。

私たちは、宗像市が一人ひとりが大切にされ笑顔があふれるまち、だれもが安心して暮らせるまちであってほしいと願っています。社会が成長から成熟へ

と移行する中、宗像市も厳しい時代を迎えています。だれもが安心して暮らし続けられるまちにするためには、新たな価値観を持って、これからのまちづくりを考えていくことも必要です。市民のみなさんの豊かな経験と知恵が活きる時です。私たちは、市民の納めた税金の使いみちを決め、暮らしを支える制度やしくみをつくる議会の場に、市民の経験と知恵を活かしていきたいと思っています。そのため、日々市民のみなさんと会い、対話し、その中で課題を共有し、ともに解決策を考え議会につながることを心がけています。また、地域で市民のみなさんと語り合う場を設け、議会でも得られた情報を共有し、共に考える機会を大切にしています。そして、たとえ少数の意見でも市民にとってまた未来にとって大切なことであるならば、議会の場で粘り強く提案しています。

代表質問

市長および教育長の25年度施政方針、教育施政方針に対して、所属する会派を代表して5人の議員がそれぞれ質問しました。(掲載は質問順)

宗像志政クラブ

代表質問者 花田 鷹人

施政方針について質す

問 宗像というまちのイメージを揺るぎないものに、未来へつないでいかなければならない、そのための都市ブランド構築に取り組みとあるが、都市ブランドとは何か。また、都市ブランド構築の具

答 都市ブランドとは、優位性を保った都市そのもののイメージであると捉える。都市の持つ強みを生かしなが



活性化が期待される国道495号沿い

施策としての企業誘致に対する市の考えは。

答 道の駅むなかたの周辺を市の観光拠点と位置付けている。国道495号沿いの活性化に向けたニーズ調査などを実施し、企業や店舗を誘致してにぎわいと活気あふれる通りにする。

問 市民生活や経済活動にとつて欠かせないインフラの老朽化対策は喫緊の課題。今後の更新費用は30年間で約670億円。これに下水道、橋梁などのインフラ系とごみ処理施設などのプラント系を含まれると約1千億円は必要では。今後の財政状況から全ての施設を維持・更新していくのは不可能。「機能を維持

しながら更新」という原則を打ち出し複合施設での対応が必要では。内部で優先度を決めるのは難しいため、再配置などについての提言を第三者委員会に求めています。

答 アセットマネジメントとは市が保有する公共施設についての現状と課題を把握、分析し、公共施設の維持管理、統合や再配置、廃

止、複合化、多機能化などを言及更新を図るものである。今後、施設白書などの策定や施設調査などを行い、施設ごとの方針を決定し、第2次宗像市総合計画や財政安定化プランと連携して、実効性の確保に努めていく。なお、施設の再配置などを決めるための第三者委員会の設置については、今後、



30年前に建築された市民体育館

宗政会

代表質問者 石松 和敏

アセットマネジメント計画策定について

他市の事例を参考に検討していく。

日本共産党

代表質問者 植木 隆信

自然災害を未然に防ぐ対策を急げ

問 豪雨による水害・土砂崩れなどを防ぐために、釣川の遊水池整備や山田川の早期改修を求める。

答 県が23年3月に策



草木が繁茂する山田川

定した釣川水系河川整備計画が、一日も早く実施されるよう、県に重ねて強く要望する。

問 漁獲高県下の水産物のブランド化へ

答 獲れると同時に水産物を加工し、付加価値をつけ、販路を拡大する時期に来ているのではないか。

答 ブランド化の中心となる漁協の合併を進め、体制強化を図って

いる。また、6次産業化(*9)や販路拡大のため、市も積極的に支援していく。

問 地域経済への効果や青少年野球のレベルアップを期待して、県

に公式野球場の誘致を働きかけることはできないか。

答 現段階で県の球場整備の予定はない。今後、県の動向を注視しながら働きかけていく。

とびうおクラブ

代表質問者 北崎 正則

施政方針・教育施政方針について

市民とともに進める

問 防災対策について

答 自主防災組織の早期結成を目指す方法は、説明会や規約の提案などを継続的に行つ、25年度に配布する



改定される防災マップ

防災マップの記載項目

答 浸水想定区域や土砂災害警戒区域、避難所や啓発情報などを掲載。

問 公共施設アセットマネジメントについて

答 基本調査の方法や財政計画との連動性は、総合計画や財政安定化プランと連携し、基金の積み立ても検討しながら実効性の確保

に努める。

問 教育施政方針について

答 小中一貫教育の7年間の総括は、学習への規律や態度の向上、組織やシステムの確立、家庭や地域との連携に効果があった。

問 スポーツ振興計画の進捗よく状況は。

答 計画は、ほぼ着手済みで順調に進んでいる。

ふくおか市民政治ネットワーク

代表質問者 杉下 啓恵

総合計画の基本的方針と具体的な取り組みは

問 第2次宗像市総合計画の策定における基本的方針と、そのための具体的な取り組みは。

答 市民の声の反映や、「コミュニティのまちづくり計画を盛り込み、目標の共有化や協働の見える化に取り組んでいく」。

問 災害時の対応は

答 災害時、介護施設

や障がい者施設などの入所者の避難について、地域との連携は考

答 現在、災害時の福祉避難所の協議を進めている。今後、連絡協議会の設置や自主防災組織との連携など検討していく。

問 小中一環教育について

答 教師が子どもたち

とれなことでの影響は。小・中学校合同の遠足の様子



り、その成長はより望ましくなっているとの声を聞く。

* 「会派」とは、市政に対して同じ考えを持った議員の集まりです
* 「会派」の構成は、3月定例会現在です

一般質問

3月1日、5日、6日の3日間にわたって、12人の議員が市の方針や行政事務について、合計16項目の質問を行いました。

○議員が質問を届け出た順に掲載しています

○掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています

○質問の詳細については、録画映像もしくは6月上旬に公開予定の議事録をご覧ください

宗像の教育が目指すものは

宗政会／岩木 久明



小中一貫教育の利点として「児童生徒の知・徳・体に関する生きる力を伸ばすことが可能である」とあるが。

問 知（確かな学力）の具体的な成果は何か。

答 机上整理などの学習規律と、話し方や聞き方などの学力を向上させる基盤が整ってきた。

問 徳（豊かな心）の具体的な成果は何か。

答 授業を改善することで、相手を思いやることや自分の心を振り返ることができるようになった。

問 体（健やかな体）の具体的な成果は何か。

答 早寝・早起き・朝ごはん運動や授業での体力づくりで、子どもの健やかな体をつくっている。

問 本市の教育現場に課題はあるか。あるならば情報開示、説明責任を具体的に問う。

答 実態把握のための調査中。結果をもとに適切な対応に努める。

連続性のある教育施策を

宗像志政クラブ／伊達 正信



落書き消し後、子どもたちが書いたかわいらしいイラスト

問 本市は、23年度に子ども部を設置し、幼稚園と保育所を子ども部が、小学校を教育委員会が所管している。幼保小の連携（*10）において所管組織が違ふことでの課題はないか。

答 幼児教育などの教育委員会所管の事務を行うため、子ども部職員に教育委員会の併任辞令を出している。2つの組織は

あらゆる場面で必要な連携を取り、効果的・効果的に運営している。今のところ課題はない。

問 いじめや不登校の早期発見と迅速な対応の具体的な取り組みは。

答 欠席や遅刻が増えた児童の家庭への早期連絡。無記名によるアンケートの実施と相談ボストの設置、保護者への啓発など。

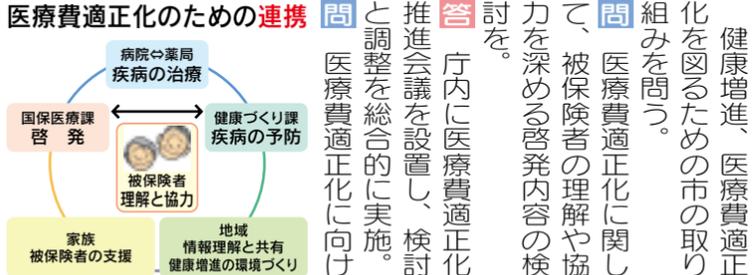
問 環境美化活動に支援を

答 落書き消しボランティア団体にペンキなどの材料代を助成できないか。

答 助成は検討する。

健康増進、医療費適正化を

宗政会／岡本 陽子



た医療機関や薬局との連携の現状と今後の展望は。

答 健診や予防接種、シエネリック医薬品の普及促進で連携。今後、医療費適正化を目的とした協議会が組織されれば、より連携が進むと考える。

問 国民健康保険データベース（*12）活用方法は。

答 新たな保健事業の構築や医療費適正化対策の企画立案に生かしていく。

問 特定健診や保健指導の受診目標率達成のための検討を。

答 受診環境を整備し、コミュニケーションと連携しながら周知啓発に努める。

指定管理者選定に向けて

宗像志政クラブ／小島 輝枝



シルバー人材センター

第3期目の指定管理者選定の時期を迎える。

問 2期目のふれあいの森総合公園の指定管理者を外れた宗像市シルバー人材センターは、その後、厳しい経営をしいられている。シルバー人材センターの現状と今後の支援策を問う。

答 減収による影響は大きかったが、就業先の開拓やサービス向上などの経営努力に努められている。高齢者の社会参加や雇用確保の観点から組織強化や経営改善などの支援は続ける。

問 宗像方式の学童保育

として高い評価を得ていた学童保育連合会も2期目の指定を外れた。学童保育の将来像を問う。

答 地域の子どもは地域で育てることが理想。モデル事業を検証しながら、今後も指定管理者制度を有効に活用し、学童保育を効果的、効率的に実施していきたい。

教育施設の質的な向上を求める

とびのおクラブ／安部 芳英



老朽化している城山中学校

問 赤間小、城山中の体育館は他校より狭い。教育を受ける質的な機会均等が損なわれていないか。

答 子どもが学ぶ施設の均等化という視点では若干厳しい状況にある。

問 教育環境の充実が都市ブランド構築に不可欠である。戦略的に城山中の早期建て替えを。

問 アセットマネジメント基本方針に基づく検討委員会の中で、今後検討する予定。

問 赤間コミセン周辺へ城山中を移転させ、地域活性化やシンボルとして有効利用できないか。

答 校舎移転は選択肢の一つではあるが、地域のシンボルとする視点があれば、土地の状況、教育的な環境、地域や保護者の意向などを総合的に判断する必要がある。

その他の質問 中央公園多目的グラウンドの利用者増加のため、夜間照明の設置を

障がいのある人へ就労の場を

ふくおか市民政治ネットワーク／高原 由香



障がいのある人たちが作った商品のカタログ

問 障害福祉計画に市職員を対象とした障がい者理解などの研修を実施することあるが、障がいのある人とともに就労することを目指した内容なのか。

答 障がいに関する知識や窓口対応の工夫など、障がい者理解や接遇などに力点を置いた研修。

問 障害福祉サービス事業所へ発注する業務の洗い出し方法は。

答 福祉課でカタログ作成支援を行い、提供できる業務や物品を紹介して、各課への注文を促し、企業などへの売込み支援もできると考える。

問 市役所内で、チャレンジ雇用を実施する考えはないか。

答 今後の検討課題。

問 市内の障がい者雇用の実績は。

答 「はまゆづり（*11）」が就労支援をし、雇用された人は、23年度で10人、24年度で21人。

その他の質問 安心して通える通学路を

交流人口増加のための観光振興

宗像志政クラブ／吉田 剛



本市を拠点に活躍するサニックス・ブルース

問 宗像版観光プラットフォーム（*13）の今後の方向性は。

答 本市の特徴である歴史と食に、自然、スポーツ、祭りなどの観光資源を組み合わせ、事業を展開していく。

問 東郷駅北口を世界遺産の観光拠点として整備する考えは。

答 街灯や標識など世界遺産を意識して整備する。

問 駅名変更には多額の費用がかかる。費用をかせずに印象づけができるよう東郷駅北口を宗像大社口に変更してはどうか。

答 関係機関と協議、検討する。

問 スポーツ観光推進の考えは。

答 推進体制や周辺自治体との連携などについて、調査研究する。

問 サニックスブルースへの支援の考えは。

答 行政だけでなく、市を挙げて、応援体制をつくる必要がある。

教師の多忙化など十分な検証を

日本共産党／新留 久味子



問 不登校児童の減少は、小中一貫教育の導入目的のひとつだが、23年度は不登校児童数が過去最高となった。この状況をどう考えるのか。

答 他自治体と比較しても、本市の不登校率は非常に低い。小・中のつながりを作ることで中1ギャップ（*14）は減少していると考ええる。

問 小中一貫教育の研究指定校では、不登校児童と病休の教職員の数が急増。この状況をどう考えるのか。

答 近年、教職員は多忙をきわめているが、年齢

構成が高いことによる健康の課題もあると考える。

問 福津市長は、中学1年生の少人数学級を公約にし、当選した。本市も導入を検討できないか。

答 中学1年生の少人数学級実現には、教職員の増員配置が必要。市の財政負担が生じるため、実施は考えていない。

「コミュニティ事業の今後の進め方は

宗像志政クラブ／神谷 建一

問 コミュニティ活動のさらなる活性化に向けて今後の具体策は。

答 まちづくり交付金の拡充や積立金制度の導入による利便性の向上、コミュニティビジネスモデルを検討していく。

問 25年度、吉武コミュニティに非公募で学童保育事業を委託する方針が示されたが、学校施設の利用は可能か。

答 実際に学校の調理室を貸し出している事例もあるので、学校施設が活用できるならば活用して欲しい。

問 地区コミュニティ



が、学童保育事業の指定管理者となった場合、地区コミュニティが担う役割や責任が重たくなると考えるが、最終的には市の責任で運営すると考えてよいか。

答 吉武小学校の学童保育事業の指定管理者を吉武コミュニティと指定するのは市であり、最終責任は市長にある。

学童保育事業の指定管理者選定のあり方

日本共産党／末吉 孝

問 指定管理者選定のスケジュールは。

答 5月に公募。6、7月に選定委員会。8月に答申を受け、9月議会に提案。可決されれば基本協定締結。26年4月に運用開始予定。

問 南北エリアが同一の指定管理者となることを妨げないとする理由は。

答 南北エリアの分割に拘らず、利用者にとって最善の提案を採用できるように判断したため。

問 学童の指定管理者が変わって3年、これまでの「宗像方式」の保育が継続されていると市は認

識しているようだが、入所児童の減少や保育内容や指導員との信頼関係の欠如、保護者会活動の低迷など、認識と実態が矛盾しているのではないかと考えている。

答 保護者、指定管理者、行政が連携し、課題解決の場を整えていけば、基本的な部分での矛盾はないと考えている。



本市の将来の財政見通しはいかに

宗政会／福田 昭彦

問 地域のさらなる発展のために「健康づくりとスポーツの推進」を市政の重要な柱とするよう提案するがどうか。

答 健康づくりとスポーツ推進は、施策として重要である。25年度から文化スポーツ課を設置し、組織と人員の強化を図っていく。

問 新市制10周年に「健康スポーツ推進文化都市・宗像」(仮称)を宣言するならば、市民を大いに元気づけることになるか。

答 第2次総合計画を策定する中で検討したい。



6月定例会の日程

日程	内容
6/10 月	本会議 (議案上程、提案理由の説明)
12 水	本会議 (一般質問)
13 木	本会議 (一般質問)
14 金	本会議 (一般質問・大綱質疑)
17 月	総務常任委員会
18 火	社会常任委員会
19 水	建設産業常任委員会
20 木	予算第1特別委員会
21 金	予算第2特別委員会
24 月	委員会予備日
27 木	本会議 (委員会報告、質疑討論、採決)

議会広報調査特別委員会を設置しました

議会から発信する情報を、より分かりやすく、より見やすく。市民が「見たくなる議会」を目指します。

議会広報調査特別委員会の おもな取り組み

- ◆ 議会だよりをより読みたくなるものになるもの
- ◆ ホームページ・議会中継をより見たく
- ◆ 新しい情報発信ツール(フェイスブックなど)の検討
- ◆ タブレット端末導入の検討



【前列左から】神谷建一副委員長、福田昭彦委員長
【後列左から】森田卓也委員、岡本陽子委員、杉下啓恵委員、吉田剛委員

- ◆ 一般質問の内容は、開会の3日前に議会ホームページに掲載し、市役所でも配布します。
- ◆ 請願の締切日は、6月3日(月)です。
- ◆ 予算第1特別委員会は一般会計、予算第2特別委員会は特別会計と企業会計を審査します。
- ◆ **傍聴者アンケートより**
- ◆ 意外に傍聴者が少なく、もつと多くの人が議会に関心を持ってもらいたいと思った。
- ◆ 一般質問の時間が長くなったことは良いが、答弁と質問はきちんと分けるべき。答弁が長いと質問時間がなくなる。

市議会に関する問い合わせは
議会事務局 Tel 0940(36)1119

市議会のくわしい情報はホームページをご覧ください。

宗像市議会 [検索](#)

市議会データ

これって何の数字? 613人

1年間に議会を傍聴した人の数です。

24年の1年間で本会議や委員会の傍聴に来た人は、613人。昨年は100条調査特別委員会もあり、傍聴者数は過去最高となりました。傍聴者の定員は、本会議60人、委員会15人ですが、日によっては満席になることもあります。

傍聴するには?

当日、市役所本庁舎3階の議会事務局までお越しください。窓口で傍聴人受付カードに住所と氏名を記入していただきます。会議中の出入りは自由です。

インターネット中継

りがとごさりました。

会議の様様をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

テレビ放映

市内公共施設や「コミュニティ・センター」、市役所ロビーのテレビでも会議の様様を放映しています。お立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

編集後記

3月議会で「議会広報調査特別委員会」が設置され、「市議会だより」の編集を担当委員会が担当することになりました。委員6人のうち、3人は新人議員です。フレッシュな感覚で編集していきますので、新しい紙面を大いに期待ください。また、委員会が取り

組むことはもう一つ。議案審議に必要な膨大な量の紙の資料を減らすことです。そのために紙の資料をデータ化し、タブレット端末を導入することを検討します。これにより効率的な情報管理と円滑な議会運営も期待できます。

ミッション・インポッシブルで頑張ります。

委員長 福田 昭彦